

## チーム医療推進協議会に参加して

緑風荘病院 栄養室・健康推進部 管理栄養士 西村一弘

### チーム医療推進会議とチーム医療推進協議会（各職能団体と患者会の代表者で組織された民間団体）

厚生労働省医療政策局では、昨年 4 月より看護業務の拡大を中心とした「チーム医療推進会議」を開催しました。その後チーム医療ということで、この会議に 2009 年 9 月に発足した「チーム医療推進協議会」のメンバーから、放射線技師や理学療法士も参加するようになりました。

### チーム医療推進協議会からの提案が専門職業の拡大に……

本年 4 月 30 日付の医政局長からの通達文では、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などの業務について、現行の法制度の下で、職種の専門性が活かされる一部業務に限り、医師の包括的指示の基に行える業務としました。例えば管理栄養士の場合、医師の包括的指示（クリニカルパスや院内約束食事箋など）があれば一般食の場合、患者の状態や食欲などに合わせて栄養量の変更や決定を行っても良いことや、栄養食事指導の時期なども、管理栄養士が決定しても良いことが記載されています。これらの内容は「チーム医療推進協議会」からの提案でした。

### チーム医療推進会議の現状と課題

この会議で厚労省から、チーム医療を評価する組織を新設し、施設認定などを行うことが提案されました。しかし、チーム医療に対する評価は、診療報酬などとして反映できる仕組みを検討して欲しいという提言を行いました。現在は、看護業務の拡大やチーム医療による治療効果のエビデンスの構築を行い、チーム医療のガイドラインを作成することなども検討されています。

### チーム医療推進協議会の活動

チーム医療推進協議会では、毎月代表者会議を行い、これまで 3 つの取り組みを行いました。1 つ目は、2010 年 1 月に神奈川県鶴見大学で 13 団体（現在は 18 団体）によるシンポジウムを開催しました。2 つ目は、2010 年 7 月に行われた日本放射線技師会の学術大会の際には、一般市民向けにポスター展示などを行い、国民にチーム医療をアピールしました。3 つ目は、2010 年 9 月に米国の MD アンダーソン癌センターの上野教授を招いて、講演と公開インタビューを開催しました。MD アンダーソン癌センターは、チーム医療を全世界に発信している病院です。

この協議会ではチーム医療の検討、各職種の教育制度の検討、広報など複数のワーキンググループ（WG）もあり、それぞれが活動を行っています。私も広報 WG に所属し、近々ホームページが公開される予定になっています。

### CDEJ はチーム医療の中心

糖尿病の治療は古くからチーム医療を実践しており、まさに糖尿病療養指導士はチーム医療を担う資格であると思います。まずは糖尿病療養指導士によるチームでの介入を検証して、エビデンスを示すことが重要と考えられます。糖尿病療養指導士は他職種が同じ講義を受講して、同じ試験を受験し、同じ基準で評価されて一定のレベルを担保された他には類を見ない資格です。従って、もっと積極的にその活動を示す必要があると思います。チーム医療推進協議会には、ジャーナリストやマスコミの方々が参加されています。会議の中でジャーナリストから「医療に従事している皆さんは、医療者の間では自分たちのことを上手にアピールしているし、それぞれの職種の方は実際に素晴らしいことを実践されているが、国民にはその行動が見えてこない。もっと国民に対してのアピールを、上手に行った方が良い」という提言がありました。確かに我々は自らの研鑽や、職種間の横の連携などには積極的に取り組んでいます。しかし、外部に対する PR 活動を積極的に行うことは、これまでは苦手な分野でした。これからは積極的にマスコミやジャーナリストとも連携して、糖尿病療養指導士の存在を国民に周知していくことも、糖尿病の予防にもつながり、国民の利益になると考えられますので、是非みなさんも周知のための行動をしてください。宜しくお願いいたします。